

令和元年度  
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会  
定期巡回・随時対応型訪問介護看護  
定期巡回 かつはら

令和元年度 事業計画

<p>目 標</p>	<p>定期巡回事業の地域への認知と定着を図る。</p>
<p>理 由</p>	<p>定期巡回事業を展開するにあたって、まだまだ地域への認知度も低く、各医療関係、各居宅介護支援事業所などにもサービスとして完全には浸透していないため。</p>
<p>具体的対応策</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各地域の自治会等の集会や交流会等に積極的に参加し、説明会や勉強会などを行い、周知・広報活動を行う。</li> <li>2. 地域の民生委員や地域包括支援センター等と密に連携して、情報を共有し、住み慣れた在宅で生活できるように定期巡回サービスの必要性を広める。</li> <li>3. 兵庫県、姫路市の定期巡回事業所の連絡会の活動として、定期的に地域や各居宅支援事業所等対象にセミナー等を開催して定期巡回事業の普及に努める。</li> </ol>

令和元年度 事業報告

<p>事業報告</p>	<p>各地域の自治会等の集会や交流会等に積極的に参加し、説明会や勉強会などを行った。あわせて、事業所の周知と広報活動として、3月に交流会を行った。さらに勝原区の自治会の方々と連絡を取り合い、6月には勝原公民館での勝原地区の民生委員の定例会に出席し、定期巡回サービスの特長を説明した。</p> <p>また、定期巡回サービスのメリットや必要性を広めるため、居宅介護支援事業所や地域包括支援センター、病院等に出向き、作成したパンフレットを使用して説明した。</p> <p>退院時に利用された方の関係者には、退院後の自宅での様子やサービスの利用状況をフィードバックする書類を作成し、手渡している。</p> <p>居宅介護支援事業所には、毎月、利用状況の報告書を添えて実績を報告していることで、サービス内容を具体的に伝えられ、情報の共有ができています。また、紹介があった時には、わかりやすいように個別のニーズなどに応じた資料を作成し、具体的に説明していることで、利用につながっている。</p> <p>普及活動の一環として、介護保険課の係長と面談し、意見交換を行った。加えて、介護老人保健施設の担当者を対象に定期巡回サービスに関する説明会を行った。しかし、利用人数が増えるにつれ、訪問で手いっぱいになり、定期的な説明会は滞っている。</p>
<p>事業運営総括</p>	<p>初年度の数値目標であった20名を11月に達成し、最大21名まで積み上げることができた。新規利用者は月平均3名あったが、夏以降は入院等による休止者が相次いだことで、歯止めがかかった。</p> <p>平均要介護度に関しては、要介護度の高い利用者は他界や施設入居するケースが多く、結果的に介護度の低い方が継続して利用しているため、平均要介護度2前後で推移している。</p> <p>営業に関しては、病院や居宅介護支援事業所だけでなく、利用状況のフィードバックも含めると9月頃までは、介護老人保健施設やサービス付き高齢者向け住宅に毎月、出向いた。介護老人保健施設に関しては自宅復帰するにあたり、利用が始まるなど営業の成果はあった。サービス付き高齢者向け住宅に関しては効果は薄かった。</p> <p>サービス内容を広めることは稼働率の上昇にもつながるため、次年度は居宅介護支援事業所への営業と民生委員へのセミナーの回数を増していきたい。</p>

## 苦情対応

受付日	苦情内容	解決方法
令和元年 5月13日	<p>「訪問時の対応について」</p> <p>訪問時に体調不良から検温するために体温計を取ろうとして、本人に確認せずにタンスの引き出しを開けたことに対して納得がいかず、勝手なふるまいをされたとの申し出がある。</p>	<p>①当事者は次の訪問時に軽率な行為に関して、謝罪する。</p> <p>②翌日管理者が訪問して謝罪する。</p> <p>③利用者宅の物に触れたり、使用したりする際には必ず本人の許可を得てから対応することを説明すると理解が得られた。</p>
令和元年 7月12日	<p>「訪問車の駐車場所について」</p> <p>勝原区山戸の利用者宅前に車を駐車してサービスを行っていた所、向かいの住民から道幅が狭く邪魔になるとの申し出がある。</p>	<p>①管理者が電話にて謝罪する。</p> <p>②相手先の自宅に訪問して、陳謝する</p> <p>③訪問車は利用者宅の駐車場に駐車することを説明すると理解が得られた。</p>
令和元年 9月6日	<p>「訪問車の駐車場所について」</p> <p>網干区津市場の利用者宅前付近に車を駐車してサービスを行っていたところ、匿名の近隣の方から子どもの通学路で危険ではないかとの申し出がある。</p>	<p>①電話が非通知だったため、相手先も分からず、連絡を受けた際に謝罪する。</p> <p>②訪問車は通学路から離れた安全な場所に駐車することを説明する。</p>

## 事故対応

発生日	事故内容	事故対策
令和元年 6月7日	<p>「利用者宅の円卓破損」</p> <p>蛍光灯の交換作業中に、誤って電灯の金属ネジをガラスの円卓の上に落してしまい破損した。</p>	<p>①本人や家族に謝罪し、ガラス業者に依頼して新しいガラスと交換して修復する。</p> <p>②作業の際に周辺に壊れやすい物があればあらかじめ安全な場所に移動して行う。</p> <p>③作業が困難な場合は、定期巡回で無理に行わず、業者へ対応を依頼する。</p>

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 1.4》

令和2年3月31日 現在

	人数	割合
要介護1	9	56%
要介護2	6	38%
要介護3	1	6%
要介護4	0	0%
要介護5	0	0%
合計	16	100%

月間訪問実績（人数）

平成31年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	6	7	8	7	8	7	9	9	9	10	10	9	99
要介護2	0	1	1	1	1	2	2	5	5	6	7	6	37
要介護3	0	1	2	4	4	3	2	2	3	3	2	1	27
要介護4	1	0	0	0	0	3	3	2	2	1	0	0	12
要介護5	1	1	2	3	2	2	2	2	2	0	0	0	17
合計	8	10	13	15	15	17	18	20	21	20	19	16	192

月間訪問実績（延べ人数）

平成31年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	326	346	450	517	546	480	724	622	563	575	479	461	6,089
要介護2	0	84	74	85	86	106	149	226	405	483	467	499	2,664
要介護3	0	58	168	261	426	290	243	235	339	371	178	158	2,727
要介護4	81	0	0	0	0	121	139	234	212	69	0	0	856
要介護5	85	88	110	304	219	200	211	204	128	0	0	0	1,549
合計	492	576	802	1167	1277	1197	1466	1521	1647	1498	1124	1118	13,885

新規契約者数

平成31年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	3	3	3	4	2	3	4	2	2	2	4	1	33

平均介護度推移

平成31年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均介護度	1.9	1.7	2.0	2.4	2.1	2.4	2.2	2.1	2.1	1.8	1.6	1.5	1.9

年齢別構成状況

令和2年3月31日 現在

	65歳以下	65歳以上 から 70歳未満	70歳以上 から 75歳未満	75歳以上 から 80歳未満	80歳以上 から 85歳未満	85歳以上 から 90歳未満	90歳以上	合計
	男	0	0	0	1	2	0	
女	0	1	0	4	2	4	2	13
全体	0	1	0	5	4	4	2	16

職員間の内部研修の実施状況 (令和元年度)

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期 間	講師(職・氏名)
基本理念・接遇研修	法人理念・職務の心得・接遇・個人情報保護についての取り扱いについての研修	全常勤職員	50名	4月1日	副施設長(塩見優次)
認知症研修	認知症予防と改善への対策について	全職員	59名	4/22~4/26 (5回)	認知症委員会
食中毒予防研修	細菌性食中毒の特徴と予防について知る	全職種	45名	5/20~5/24 (5回)	栄養委員会
感染症予防研修	感染症予防と発生時の対応を学ぶ	全職員	59名	6/17~6/21 (5回)	感染・衛生委員会
生活習慣病基礎研修	生活習慣病の特徴、行動変容ステージについて	介護員	47名	7/15~7/19 (5回)	医療的ケア安全対策委員会
リスクマネジメント研修	前年度の事故報告書集計、ヒヤリ・ハット報告書集計、KYTについて	全職種	48名	8/26~8/30 (5回)	リスク管理委員会
接遇研修	安心・信頼できる接遇、敬語・ため口のメリット・デメリットについて	介護員	38名	9/23~9/27 (5回)	介護向上委員会
褥瘡・拘縮予防研修	ポジョニングとは何か、ポジョニングと体位変換の違いについて	全職種	41名	10/21~10/25 (5回)	褥瘡・拘縮予防委員会
在宅サービス①研修	特定施設入居者生活介護について	全職種	35名	11/18~11/22 (5回)	在宅サービス委員会①
安全対策研修	利用者の所在が分からない場合の対応手順について	全職種	45名	12/24~12/27 (4回)	安全対策委員会
身体拘束・虐待廃止研修	指針・マニュアルの確認、認知度調査について	介護職	82名	12/1~12/31 (配布)	身体拘束・虐待廃止委員会
在宅サービス②研修	やながせ福祉会が取り組む地域貢献事業について	全職種	49名	1/14~1/17 (4回)	在宅サービス委員会②
身体拘束・虐待廃止研修	身体拘束に関する認知度調査に関する回答及び説明について	全職種	60名	2/17~2/21 (5回)	身体拘束・虐待廃止委員会
リスクマネジメント研修	事故報告書、ヒヤリ・ハット報告書の集計及び書き方について	全職種	64名	3/23~3/27 (5回)	リスク管理委員会

参加職員は併設事業所も含む。

職員間の法人内部研修の実施状況（令和元年度）

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師（職・氏名）
接遇研修	介護職員のビジネスマナーについて	全職種	91名	9月3、9、25日	株式会社ニッソーネット 教務主任 青野桂子氏
管理職（マネジメント能力向上）研修	組織の管理者としてのビジョン、方針、人材育成、組織の維持・発展における必要なスキルについて	管理職	7名	10月18日	株式会社コンソーシアム ジャパン 代表取締役 栗平潤一氏
管理職（マネジメント能力向上）研修	管理職としてのマネジメント能力向上について	管理職	7名	11月18日 12月18日	株式会社ニッソーネット 教務主任 青野桂子氏
兵庫県4Das基礎研修（法人）	兵庫県認知症機能評価システム、対象者の評価方法と目標設定、プログラムの考え方について	全職種	11名	10月25日 11月8日	兵庫県認知症対策室長 柿木氏 NPO法人認知症しあわせ計画 山口氏

参加職員は併設事業所も含む。

職員の外部研修の受講状況

(令和元年度)

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
ホームネット株式会社 ペーパーレス研修	計画作成責任者のあり方について スマケケアシステム管理（ペーパーレス化）について	管理者、計画 作成責任者	2名	5月15日	1日間	姫路・勝原ホーム面談室	口頭・復命
勝原校区民生委員 民生委員研修会	定期巡回サービス（意見交換）について	管理者、計画 作成責任者	2名	6月25日	1日間	勝原公民館2階集会所	口頭・復命
定期巡回かつはら 第1回介護・医療連携推進会議	定期巡回サービスの状況報告・評価について 定期巡回サービスに関する説明（意見交換）について	管理者、計画 作成責任者	2名	6月29日	1日間	姫路・勝原ホーム 新館1階交流室	口頭・復命
ホームネット株式会社 2019年スマケケアユーズン研究会	定期巡回の営業、加算要件、事例検討（導入時のプラ ン適正化）について	管理者	1名	9月13日	1日間	三宮コンベンションセ ナー	口頭・復命
定期巡回かつはら 第2回介護・医療連携推進会議	定期巡回サービスの状況報告・評価について 定期巡回サービスに関する説明（意見交換）について	管理者、計画 作成責任者	2名	1月18日	1日間	姫路・勝原ホーム 新館1階交流室	口頭・復命



